

第 25 回宮城県作業療法学会 演題募集要項

I. 演題応募資格

- (1) (一社)宮城県作業療法士会(以下、当士会)会員は、筆頭演者として演題応募資格があります。ただし、演題募集の締め切り時点において、入会時から令和7年度までの会費((一社)日本作業療法士協会、当士会の両方)が納入されている必要があります。なお、他都道府県の作業療法士会会員は、筆頭演者としての応募資格はありません。
- (2) 作業療法士以外の職種の方は、筆頭演者としての応募資格はありません。

II. 演題発表形式および募集内容

- (1) 一般演題(口述発表:発表7分, 質疑応答3分)
実践報告、研究報告等ジャンルは問いません。
- (2) 事例報告(口述発表:発表7分, 質疑応答3分)
現職者共通研修「事例報告」への読み替えが可能です。

III. 演題発表形式

- (1) 上記II. の通り、一般演題、事例報告のどちらも口述発表のみとなります。
すべてPC(Windows版 Microsoft PowerPoint 2016)を用いて行います。持ち込みメディア形式はUSBフラッシュメモリーの予定です。(トラブルに備えファイルのバックアップを別にご持参ください。)

IV. 応募期間と演題応募の流れ

- (1) 演題応募(演題タイトル登録、演題概要)
応募開始:令和7年5月19日(月)
締め切り:~~令和7年7月25日(金)~~ ⇒ 令和7年8月29日(金)まで延長
様式1『演題登録応募用紙』へ入力し送付していただきます。
- (2) 抄録登録
締め切り:令和7年10月17日(金)
様式2『抄録登録』へ入力し送付していただきます。

- ※ (2) 申し込み後に抄録採択の為の査読が行われます。
- ※ 当士会ホームページに掲載される学会プログラムは、演題タイトルのみとなります。
- ※ 抄録は、学会開催前にE-mailにて参加者へ配布いたします。

V. 演題応募手順 ※令和7年7月25日(金)更新

- (1) 演題応募(演題タイトル登録, 演題概要)
当士会ホームページ(第25回宮城県作業療法学会・演題募集のご案内)より様式1『演題登録応募用紙』をダウンロードします。必要事項をご入力の上、締め切り日(令和7年8月29日(金))までに、下記宛先へE-mailにてご送付ください。E-mailの件名に「第25回宮城県作業療法学会 演題登録 応募」とご入力ください。
- (2) 抄録登録
演題応募後、学会側から演題登録完了の旨をE-mailにてご連絡いたします。その後、当士会ホームページ(第25回宮城県作業療法学会・演題募集のご案内)より様式2『抄録登録』をダウンロードし、抄録作成要項を参考に抄録作成をお願いします。また、参考となる書式も合わせて掲載いたしますので、ダウンロードしご活用ください。抄録登録締め切り日(令和7年10月17日(金))までに、下記宛先へE-mailにて抄録をご送付ください。E-mailの件名に「第25回宮城県作業療法学会 抄録登録」とご入力ください。
- (3) スライドデータ
スライドデータについては事前提出不要です。学会当日に動作確認をいたしますので、学会当日までに各自ご準備ください。なお、スライドの1枚目に演題名と発表者名、2枚目に利益相反(COI)開示についてスライドを作成していただきます。詳しくは抄録登録後に学会側からE-mailにてご連絡いたします。

VI. 抄録作成要項

- (1) A4版1枚で(2段組:1行24文字以内×40行, 900から1,700文字程度)、文字は全角(MSP明朝体, 本文は10.5ポイント, 題字は左揃えで12ポイント)とします。英数字は半角とします。なお、文字数にタイトルは含みません。
- (2) 抄録トップのタイトル欄には、演題タイトルと氏名, 所属, キーワード3つをご入力ください。なお、共同演者については4名までとなります。
日本作業療法士協会ホームページにキーワード集が掲載されていますので参考にすることができます。(<https://www.mas-sys.com/jotc53/keyword-ja.html>)
- (3) 本文には【目的】【方法】【結果】【考察】【まとめ】等の小見出しをつけてください。小見出しは左揃えとし、その両端には【 】をつけて囲み、必ず改行してご入力ください。また、図表は入れないでください。
- (4) 基本的に抄録の作成はMicrosoft Wordをご使用ください。その他のワープロソフトを使用する場合はご相談ください。また、入力される文字によって、文字化け・脱字等の不具合が生じることがあるため、以下の特殊文字(記号)の使用は絶対に避け、半角英数や他の文字で代用して下さい。
避ける文字(記号): 囲み数字, ローマ数字, 単位記号, 省略記号, 等
- (5) 作成した抄録は下記宛先へE-mailにて添付しご送付ください。それ以外の方法を希望する方は、その旨をご連絡ください。

Ⅶ. 演題論文の使用権について

演題論文の二次使用権・許諾権は、当士会に帰属します。

Ⅷ. 演題内容に関わる倫理的事項について

- (1) 対象者の同意について：下記の倫理的事項を遵守し、本文中に倫理的配慮についてご記載ください。特に対象者の同意についての記載は必須です。
- (2) 最大限の倫理的配慮：研究の計画・実行・分析・演題作成等の過程において、個人の尊厳、人権の尊重等の倫理的配慮を十分に行い、各大学・病院等に倫理審査委員会がある場合は、審査を受けた旨を記載してください。
- (3) 著作権等への配慮：他の著作物からの引用を行うときには、本文中に出典の著者と発行年数（フルネーム，西暦）を明記し，著作権を侵害しないようご注意ください。
- (4) 学会長の要請に対する協力：学会長から，演題内容に関する倫理的配慮を証明する文書の提出や説明を求める場合があります。その場合はご協力願います。
- (5) 利益相反（COI）の開示：発表演題に関連して，企業や営利団体等から金銭等の提供を受けた場合や受ける予定がある場合には申告する必要があります。発表時に利益相反の有無を述べてください。

Ⅸ. 応募演題の採択について

- (1) 最終的な採否は以下の採択基準に従って，学会長と演題査読委員会の協議のもとに決定いたします。なお，採択された演題の取り消しはできません。
 - 1) 演題内容に関わる倫理的事項が遵守されている。
 - 2) 論文構成や表現などが適切である。
 - 3) テーマや内容に創造性や独自性があり，作業療法の発展に貢献すると判断される。
 - 4) 方法・器具等が具体的に記載されている。
 - 5) 同一演題名で他学会等において発表されていない。
 - 6) 本学会の「演題募集要項」が遵守されている。
- (2) 採択結果の通知は，抄録登録締め切り後 2~4 週間を目安に，順次学会側から E-mail にて筆頭演者連絡先宛へ直接通知いたします。

X. 演題採択基準

(1) 発表の質

発表は以下のように項目とその内容が構成的に記載されているか（以下は発表の構成例です。必ずしも構成例の通りに記載する必要はありません）。

- 1) 序論：発表の背景（先行研究の成果や残されている課題），発表の重要性や必要性が述べられているか。
- 2) 目的：発表で何を明らかにするのか，具体的な方法が述べられているか。
- 3) 方法：対象と方法が具体的に述べられているか。方法は発表の目的に合致しているか。倫理手続きが述べられているか。
- 4) 結果：実践や介入の結果が示されているか。
- 5) 考察（結論）：得られた結果が論理的に説明されているか。発表の重要性や問題点，社会に果たす貢献などが述べられているか。

※事例報告や実践報告に関しては，項目を明確にして構成的に述べられているか。

(2) 専門性

- 1) 発表は作業療法の発展に貢献するか。発表の内容は作業療法と関連しているか。実践のレベルを高めたりするのに役立つ発表か。
- 2) 作業療法を発展させるユニークな発想やオリジナルな視点（斬新さや革新性）はあるか。

(3) 倫理的配慮

- 1) 発表は個人情報保護し，対象者からインフォームド・コンセントを得て行われているか。また，当該機関の承認を得ているか。

(4) その他

- 1) 同一，または極めて類似した内容で他学会等において発表されていない。
- 2) 本学会の演題募集要項が遵守されている。

(5) 演題審査方法

「IX. 演題採択基準」に基づき，審査員の査読により「採択」，「修正後採択」，「不採択」の判断を行います。最終的な採否判定は，学会長が行います。

(6) 審査員コメント

審査の結果，「修正後採択」，「不採択」になる可能性があります。「修正後採択」の場合は，審査員からの修正理由に関するコメントが応募者に通知されます。「不採択」の場合は，審査員が今後の発表や抄録の改善に役立つコメントを記載します。そのコメントは応募者に通知されます。なお，コメントは学会長が修正することがあります。

X I. 演題発表

演題発表を行うセッションは，学会実行委員会が決定いたします。

X II. お問い合わせ先（宛先）

第 25 回宮城県作業療法学会 学術局 菅原祐樹

E-mail : miyagiot.the25th@gmail.com